

○奈良市市民参画及び協働によるまちづくり推進計画実施計画に対する質問事項表

| シート名 | シートNo. | 事業名 | 担当課名 | 事前質問事項 | 各担当課からの回答 |
|-----------------------|--------|------------------------------|----------------|--|---|
| 1 令和4年度 事業評価シート（協働事業） | 1 | 奈良市子ども会議の開催 | 子ども政策課 | 過去に子どもたちが当たり前に行っていた、相手のことをおもんばかったルール作りや遊びを通した多世代交流等、現代に見合った形に置き換えた取り組みに期待しています。そこで、今後、地域共生社会を実現するために、小地域（小学校単位）でも子ども会議を普及する計画があるのかお伺いしたい。 | 子ども会議は、奈良市子どもにやさしいまちづくり条例第12条に基づき、子どもにやさしいまちづくりや子どもに関する施策について、子どもが意見表明し、参加する場として開催しています。毎年議論するテーマを変え、子どもたちの意見を市の様々な施策に反映させることを目的としているため、小地域での開催は検討しておりません。 |
| 2 令和4年度 事業評価シート（協働事業） | 3 | 児童館運営事業 | 子ども育成課 | 令和4年度実施内容に、「さらなる職員の資質向上を…」とあり、さらに行政の意見として、協働することで見えた課題の欄に「職員の資質向上を目的とした…及び地域との積極的な連携に期待する」と再掲されているということは翌年度への重要課題ととらえるが、協働相手の意見欄との評価に温度差があるように感じられる。令和5年度の実施計画には、資質向上や地域連携などへの計画が示されていないようだが、令和5年度ですでに取り組んでおられる、また、取り組む予定があればお伺いしたい。 | 資質向上の取り組みについては、児童館職員が今年度外部での研修会に参加しており、また、法人内の研修も年度内に実施予定です。 地域連携につきましては、関係機関及び地元地域に年4回広報誌を発行し配布するとともに、奈良クラブのコーチによるサッカー教室やボランティアによる講習等を実施しております。また、3月頃に地域や中学校区の各種団体の協力を得て、子どもたちが楽しく交流できるフェスタの開催を予定しております。 これらの内容につきましては、令和5年度実施計画に追記いたします。 |
| 3 令和4年度 事業評価シート（協働事業） | 9,10 | 地域で決める学校予算事業 放課後子ども教室推進事業 | 地域教育課 | アンケートによると、教員の負担（事務、会計、地域との窓口など）が大きいという意見が見られました。学校現場では教員数がぎりぎりだという現状です。採用人数を増やすなど、ゆとりを持った教員配置はできないのでしょうか？コロナ禍で地域との関係が希薄になったままの状態が続き、子どもたちへの豊かな体験の機会が失われています。 | 教員の人事を担当する教職員課によりますと、教員につきましては県費による配置であり、県が採用し県の基準により配置されるため、県に対しては今後も継続して配置要望を行っていくとの回答を得ています。 また、市独自に特別支援教育支援員や教員の事務作業を軽減する教員業務支援員（いわゆるスクール・サポート・スタッフ）を配置することにより教員の業務の効率化及び負担軽減を図っております。 コロナの影響により、各校区では思い通りの活動ができず、学校と地域とのつながりも薄れてしまった校区もありますが、コロナ禍でもできる範囲の活動を地道に行うことにより、活動が全くなくなる状況は回避でき、現在は活動の再始動・活発化に向けた取組を意欲的に実施し、子どもたちに様々な体験の機会を提供するよう努めています。 |
| 4 令和4年度 事業評価シート（協働事業） | 36 | 認知症サポーター養成講座 | 福祉政策課 | 予算154千円に対し決算6千円は合っていますか？活動されていないに等しい決算額ですが。 | 予算は、講座内で認知症の当事者の方に講演いただくことに対する報償費及び養成講座開催に必要な物品が中心でしたが、令和4年度は依然として新型コロナウイルスの感染拡大が続いていたことを踏まえ、個人で参加できる市主催のオンライン講座（計11回実施）や夏休みと春休みにキッズ向けのオンライン講座を開催するなどオンライン講座に力を入れて取り組みました。オンライン講座では、認知症の当事者に講演いただくことが難しく、講師はキャラバンメイト（地域包括支援センター職員）のみでの講座の開催となったため、結果的に予算執行が少額で済んだ形となりました。 |
| 5 令和4年度 事業評価シート（協働事業） | 38 | 公民館の運営管理 | 地域教育課 | 公民館を数館だけ残し、それ以外はふれあい会館に移行していくという話を聞きます。この動きに関して、協働相手と対等に協議できているのか、どのような計画で話が進んでいるのか、お聞かせください。 | 公民館については、社会状況の変化や地域住民の多様なニーズに対応する新たな地域の拠点づくりを進めるにあたり、現在調整しているところです。なお、指定管理者である生涯学習財団や住民と現在協議中であり、今後地域とも協議を重ねていく予定をしております。 |
| 6 令和4年度 事業評価シート（協働事業） | 38 | 公民館の運営管理 | 地域教育課 | 協働することで見えた課題として、「行政に依存せずに運営」とあるが、具体的には何を指すのか、また、その解決のための令和5年度の取り組みをお伺いしたい。また、令和5年度実施計画に「地域課題を抽出、その解決にむけた取り組みを行うため、地域とのつながりを重視し…」とあるが、具体的な計画があればお伺いしたい。 | 市の指定管理料や委託金に頼ることなく自主財源の拡充を図る必要があり、中長期的な視点を持って、引き続き自主的・自立的な経営に向けた一層の努力が必要と考えます。また、このことに関して令和5年度では、比較的稼働率の低い山間部の公民館においては館長を兼務するなどして適正な職員配置を行っています。 また、各館では地域の課題に応じて、市と協働しながら1年間の講座の計画を立てております。 |
| 7 令和4年度 事業評価シート（協働事業） | 67 | E C Oキッズ！ならの子ども | 環境政策課 学校教育課 | 相手方（市民・市民団体等）とあるが、だれがどのようにして評価したのでしょうか？ | 協働相手が市民団体、環境NPOや学生団体など属性が多様であるため、まず、昨年度の事業実施後に各団体より意見を抽出し、環境政策課で原案を作成した。その後、それらの講師団体に原案の内容の確認を行った上で、評価シートを作成した。 |

| シート名 | シートNo. | 事業名 | 担当課名 | 事前質問事項 | 各担当課からの回答 |
|------------------------|--------|---------------------|----------|---|--|
| 8 令和4年度 事業評価シート（協働事業） | 72 | 佐保川清掃 | まち美化推進課 | 令和4年度は実施なし、令和5年度は事業廃止とのことですが、佐保川清掃は各地区ごとに実施していると認識しています。この廃止予定の協働事業と各地区の清掃活動との違いについて説明をお願いします。今後、各地区の清掃活動を協働事業にする予定はないのでしょうか？ | 佐保川清掃においては、主催者である佐保川清掃対策委員会が、佐保地域住民による事業活動として開催され、奈良県及び奈良市が協働して実施してきました。しかし、当委員会が解散したことにより、これまでのような『一斉清掃』ではなく、各地区における全体の町内清掃として位置づけ、他地域と同様に、自治会や地域団体等の申込を受け、当課事業として町内清掃ごみの回収を実施します。 |
| 9 令和4年度 事業評価シート（協働事業） | 73 | 人と動物がともに暮らせるまちづくり事業 | 保健衛生課 | 決算0円のわりにきちんとした評価がなされている。まったく予算を使わずどうやって事業をされたのか。 | 例年ポスターに残数が生じ、積みあがったストックにより予算を使うことなく自治会へポスターを配布することができたためです。 |
| 10 令和4年度 事業評価シート（協働事業） | - | 全体 | 地域づくり推進課 | 協働相手からの意見や問題提起に対して、各課は返答しているのでしょうか？ | 協働相手から聞き取りの中でいただいた意見等については、今後の事業展開を見直すうえで重要な要素となるため、意見に対する協議を進める対応するよう改めて事務局からも働きかけ、各課で意見交換をしながら事業評価シートを作成しています。 |
| 11 令和5年度 実施計画シート（協働事業） | 62 | 自主防災防犯組織と消防団の連携強化 | 総務課（消防局） | 新規事業として500万の予算があり、事業内容に10月の防災訓練とある。10月の訓練は別に予算が組まれているのではないのか。重複では？ | 本事業は、全額国費による「消防団の力向上モデル事業」として、消防団と自主防災防犯協議会とがお互いを理解し連携を強化することにより、地域防災力の向上を目指すものであり、そのために ①運営委員会・作業部会の開催により問題点の洗い出し ②避難所運営や応急手当に関する研修会 ③避難所開設、運営、避難誘導に特化した訓練を実施し活動に係る映像を作成し今後の活動に活用 を実施するものです。映像を作成するための訓練については10月28日に実施される奈良市防災訓練と併せて実施する可能性もありますが、危機管理課で予算措置されている同訓練経費には、上記に係る経費は含まれておりません。 |
| 12 令和5年度 実施計画シート（協働事業） | 77 | 平城・相楽ニュータウンの活性化 | 都市計画課 | 4,000万ほどの予算は具体的に何に使われているのか？ | 平城・相楽ニュータウンの高原エリアの玄関口である近鉄高原駅前広場において、「居心地が良く歩きたくなる」ウォークアブルなまちなか空間の実現を目的に、再整備のための現地測量及び基本設計等を行います。また、高原エリアにおける連携・協働の動きを加速させ、持続発展的なエリアマネジメントを実現するため、駅前広場の活用・エリアマネジメントを担うPPP組織の組成準備に向けた取組みを進めます。 |
| 13 令和5年度 実施計画シート（協働事業） | - | 全体 | 地域づくり推進課 | 協働相手からの意見や問題提起について協議したうえで実施計画を立てていますか？実施計画は行政と協働相手とで共有していますか？ | 事業評価だけでなく、実施計画についても、聞き取りの中でいただいた意見等を参考に作成し、協働相手と共有するよう働きかけております。また、当課でも内容を精査し、前年度の実施内容や事業評価を踏まえ、協働相手の意見等がどのように反映したかを事務局から担当課に確認しながら事業計画の作成を行っております。 |
| 14 令和5年度 実施計画シート（協働事業） | - | 広報紙等配布事業 | 秘書広報課 | 現在、6地域で自治協議会等により広報紙等配布事業を実施しています。これは協働事業にはならないのでしょうか？ | 広報紙等配布事業につきまして、業者が配布業務を担っている地域もあるという背景があったことから協働事業としてあげておりませんでした。ご指摘のとおり6地域で地域自治協議会等で配布を行っていただいておりますので、現在配布を行っていただいております6地域を協働の相手方として計画を作成させていただきます。 |